

# 笠岡市産業振興ビジョン策定に関する

## 第3回 新しいしごとづくり会議

2013年7月10日(水)

13:30~16:00

会場：笠岡市保健センター

笠岡に新しい仕事をつくることを通して、笠岡の産業の未来像を考える「新しいしごとづくり会議」。

第3回目の今回は、産業の種類別に6つに分かれた部会ごとに、これまでにだされたアイデアをもとに「しごとの提案書」をつくりました。

### 当日のプログラム

- 13:30 はじめに
- 13:32 前回のふりかえり・各種連絡
- 13:35 ワーク「提案書のブラッシュアップ」
- 15:15 部会ごとの進捗状況発表
- 15:40 部会ごとの役割分担決め
- 15:00 終了予定
- 15:30 発表



テーブルワークの様子

### 「しごとの提案書」をつくる

笠岡市産業振興ビジョン「笠岡の新しいしごとづくり会議」

#### 「新しいしごと」の提案書

チーム名 福祉産業（高齢者チーム）

氏名 小堀・木村・藤本・田中・佐藤・久我・橋本・横谷・増岡・守屋

しごとの名前（魅力的な名前。必要に応じてサブタイトルも記入する。）

島スタイル研究所  
笠岡諸島から新しいライフスタイルの提案

背景（地域のおかれた課題・なぜそのしごとが必要なのか）

陸地部の課題  
・60代・70代のまだ働ける高齢者に雇用の場がない。地域での役割がない。  
・車が運転できないと生活全般が非常に不便である。

島嶼部の課題  
・過疎・高齢化で地域のサービスがことごとく失われている。  
・過度の人口減少で島の強みといわれている部分が現状では弱い。

高齢者の生き方の提案として日常的に島と関わるプラットフォームを作り、島の強みを活かしたライフスタイルからの提案で新しい活路を見出す。

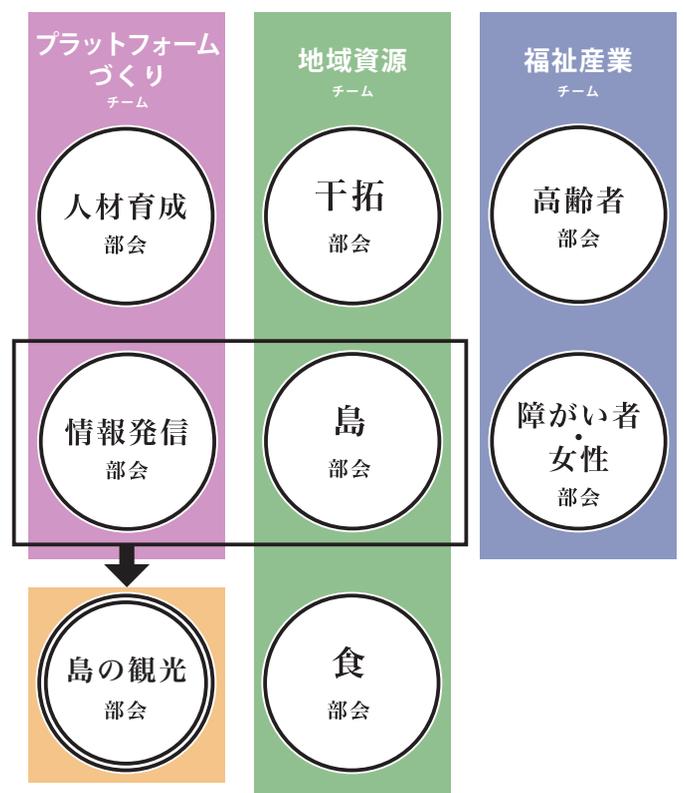
目的（そのしごとをつくることで達成したいこと。課題の解決。）

- ・島の強みをよそ者だけでなく笠岡市内の大勢の方々に感じていただくことにより島に対する意識を換える。
- ・陸地部との連携で島をブラッシュアップすることにより、高齢化の先進地としての取り組みを内外に新しいライフスタイルの提案としてアピールする。
- ・社会貢献的な島サポートにはじまり、島で仕事をする事の出来るプラットフォーム作りを通じて起業し、ひいては定住促進に繋げる目的がある。

完成した提案書（例：高齢者部会）

各部会ごとにこれまでの会議で作った「しごとの提案書」をより具体的なものにブラッシュアップしました。

「島」と「情報発信」は合同部会として、「島の観光」についての企画を深めていきました。



チーム・部会の編成図

# 各会のごとの企画を発表

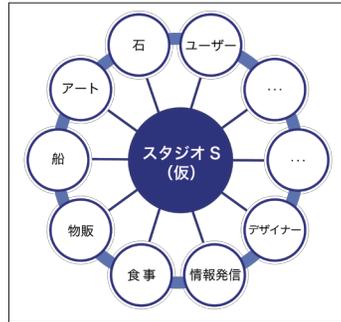
各会で考えた「しごとの提案書」の内容を全体に向けて発表しました。

## 女性・障がい者の働き方 部会



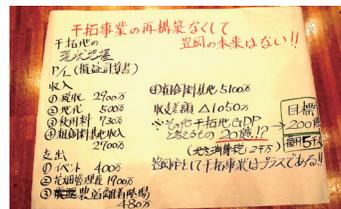
障がい者の作った商品のパッケージを魅力あるデザインに。自立を目指して、やりがいを持って働ける環境を整備する。

## 島・情報発信(島の観光) 部会



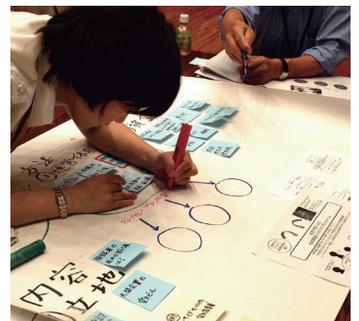
島に観光を誘致するため各企業・団体をつなぐ組織体を作る。7月27日、実験として船上レストラン実施!

## 干拓 部会



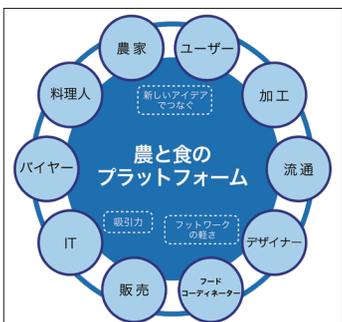
干拓地の現状分析を通して、今後の活用方策を検討する  
10年後にGDP 200億、雇用 5000人を目指す。

## 人材育成 部会



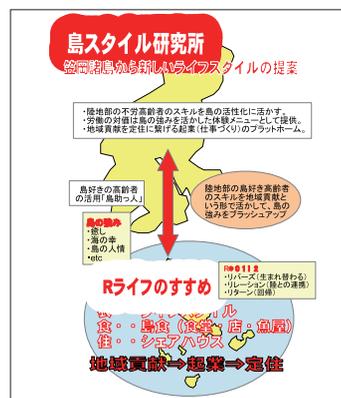
起業や事業の支援のための情報交換の場をつくる。コーディネーターを配置し、人材のマッチングを図る。

## 食 部会



「安心・安全」の笠岡ブランドをもとに、各業者の連携プラットフォームを作る。10月に社会実験の予定。

## 高齢者福祉 部会



高齢者のスキルを活かし、第二の人生として島で再び仕事を。同時に島の活性化につなげることを目指す。

第4回 新しいしごとづくり会議は下記日程と場所で行ないます。

# 2013年8月7日(水) 13:30~16:00

場所：笠岡市保健センター

これまでの会に不参加だった方もご参加頂けます。一緒に笠岡の将来について考えたい方のご参加、お待ちしております。

\*参加をご希望の場合は、下記連絡先まであらかじめご連絡下さい。

笠岡市経済観光活性化課 E-mail: keizaikankou@city.kasoaka.okayama.jp 電話: 0865-69-2147